

# 10月1日（火）声

がっこう 学校のいろんな <sup>ところ</sup> 所で <sup>げんき</sup> 元気な <sup>こえ</sup> 声が  
き 聞こえてくるようになりました。

うんどうかい 運動会に向けての <sup>む</sup> 応援練習や、<sup>しゅうだん</sup> 集団  
えんぎ 演技の練習での <sup>は</sup> 張り切った <sup>こえ</sup> 声です。



こども 子供の元気な声が聞こえてくると、<sup>ちいき</sup> 地域の人も <sup>げんき</sup> 元気になります。  
す。いい <sup>きせつ</sup> 季節になってきました。

きょう 今日、その「<sup>こえ</sup> 声」の <sup>はなし</sup> 話です。人によって出る <sup>こえ</sup> 声は <sup>ちが</sup> 違います。  
その理由を知ってますか？

<sup>こえ</sup> 声は、のどの奥にある「<sup>せいたい</sup> 声帯」が <sup>ふる</sup> 震えると出ます。声帯が  
<sup>ふる</sup> 震えて出る音が、<sup>くち</sup> のどから <sup>くち</sup> 口までの <sup>とお</sup> 通りの道の間 <sup>あいだ</sup> で <sup>ひび</sup> 響いて  
<sup>で</sup> 出ます。声が違うのは、声帯の <sup>おお</sup> 大きさや <sup>かたち</sup> 形、のどや口の大きさ  
や <sup>かたち</sup> 形が違うからです。兄弟・姉妹や親子で、<sup>こえ</sup> 声が似ている  
のは、のどや口の <sup>くち</sup> 形が似ているからなんですね。

ちなみに、声帯の震えが <sup>こま</sup> 細かいほど、<sup>こえ</sup> 声が <sup>たか</sup> 高くなります。  
<sup>せいたい</sup> 声帯の震えが <sup>おお</sup> 大きいほど、<sup>こえ</sup> 声は <sup>おお</sup> 大きくなります。少しトレ  
ーニングすれば、<sup>たか</sup> 高い声や <sup>こえ</sup> きれいな声が出るようになると <sup>き</sup> 聞いた  
こともあります。

<sup>じぶん</sup> 自分の声、大切にしてくださいね。

村越 新